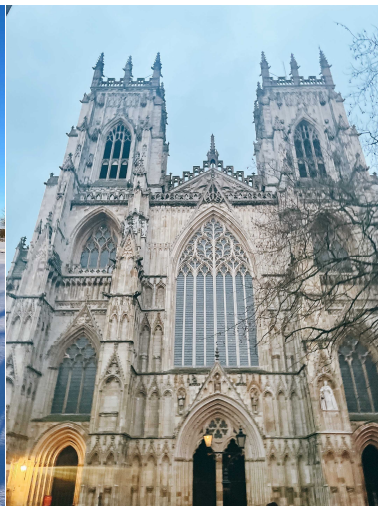


熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名：イギリス)		
参加プログラム区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 2 月 11 日－2023 年 3 月 13 日	留学開始時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	特別な勉強はしていません。大学の英語の講義を比較的真面目に聞いて、Netflix を空き時間に少しみていました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☒ プログラム費用 円 ☒ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費 (☐ 片道 ☐ 往復) 円 ☒ 海外旅行保険料 円 ☒ 食費 円 ☒ その他 (バス定期 1 カ月) £50 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	Emirates, Jetstar	手配	大学手配 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港⇒成田空港⇒ドバイ空港⇒マンチェスター空港	到着時刻	15:00 GMT 【※移動時間 (約 24 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (☐ バス ☐ 電車) ☒ その他 (ホストファミリーの送迎)		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港からリーズ駅まではバス (空港 ⇒ Manchester Piccadilly) と電車 (Manchester Piccadilly ⇒ Leeds sta.) で行きました。空港を出てすぐのチケット売り場の人に聞いてチケットを購入しました。土地勘がないので現地の人に行き方やバス停の場所を聞くのが早くて確実だと思います。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 (なし)

その他生活に必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	携帯の SIM カードは現地でプリペイドのものを購入しました。いろいろなサイトに手続は簡単だとしてありますが、電話を使った操作が必要で、電話越しのため音声の質が悪く、慣れない単語も多く使われるので、リスニング力にある程度自身があってもまず無理だと思います。現地で購入する場合はおとなしく携帯ショップの人に設定してもらおうと思います。私は一回、空港のコンビニで購入し店員さんにやってもらいましたが、どうも間違えていたらしく、後に新しく買い替えることになりました。現地の人でも間違えるみたいです。ちなみに 10GB でお 10 でした。現地で買わなくても出発前に Amazon で事前に購入している人もいました。 飛行機のトランジットがあったのでロストバゲージを心配しましたが、同行者も含めて往路復路とも無事でした。似たようなスーツケースがたくさんあるのでベルトかカバーをすると思います。
---	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について (授業・フィールドワーク内容、スケジュール等)	2 週間ごとにテーマが決まっており、それぞれのテーマの期間の最終日に全体で発表が行われる感じでした。基本はグループ学習です。 私の場合はドキュメンタリーとプレゼンテーションでした。途中で一度一日旅行のようなものがありました。クラスには日本人が多いです。
留学先大学でのサポート体制について (語学面／学校生活／住居・日常生活等)	大学で必要な手続きがちゃんとできているかの確認があったり、ホームステイの状況について尋ねられたりする機会がありました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)	登録には A と B がありましたが、私は両方現地で行いました。問題なかったです。ただ、これを怠っていると授業が受けられなくなるそうなどで忘れないようにした方がいいと思います。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は近くの観光地に行きました。ヨークやマンチェスターなどはリーズから近いので行きやすいと思います。午後休の日もあるので、その時はリーズのシティセンターをまわりました。 現地学生との交流は基本的にないです。語学プログラムにイギリス人はいません。Union で交流イベントが開かれることがあるようですが、時間が午後 5 時から 7 時と遅いため、ホームステイをしている人は参加が少し厳しいと思います。向こうで知り合った寮生はよく参加していました。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

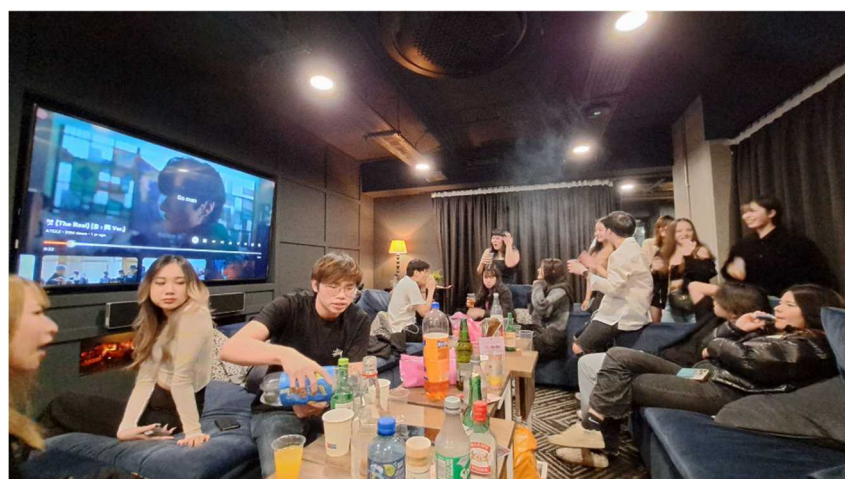
留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
放課後や休日などを日本人と過ごすと、あまり英語を話す機会はありません。現地の人と話すのは、ホストファミリーと話すときか駅員さんに話しかけるときです。ただ、リーズの人たちはイギリス英語のなかでもヨークシャー訛りなので聞き取りに苦労しました。コックニー訛りほどではないですがそれでも癖は強いです。正直、英語力を伸ばす期間として 4 週間は短かったと思います。 グループ活動をするうえで多国籍の人に話しかけるのは必須なので、コミュニケーション能力はついたと思います。テーマによっては動画編集技術やパワーポイント作成技術が必要なので、そのあたりの能力向上も見込めると思います。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）
公共交通機関はよくキャンセルになります。代替便もありません。あまり信用しすぎはいけません。 モバイルバッテリーは必須です。どこに行くにもマップを使うので、スマホの充電がなくなるのは致命的です。とくにリーズ大学は広く、毎回授業が行われる建物が異なるため、朝は余裕をもって行動した方がいいと思います。リーズ大のメールはこまめにチェックするべきだと思います。私は初日から行く場所が分からず遅刻しました。毎回遅刻してくる人はちらほらいました。 ホームステイならば、日本食を持っていく必要はないと思います。たいして持って行ってはいませんが余りました。 帰りの荷物の重量制限が心配だったので、現地で Post Office に行き、Royal Mail で帰国前に別送品として荷物を送りました。本来は荷物を受け取る時に手続きが必要ですが、別送品だと伝わらなかったのか 1 週間ほどで日本の家に届きました。成田の税関以降何も手続きはしませんでした。関税も請求されませんでした。 日本についてから、帰りのフライトの都合で成田で一泊しました。フライトが朝早くの出発だったので、朝起きるのが大変でした。

留学を通しての感想

4週間という短い時間でしたが、貴重な体験をすることができました。自分の英会話力がまだまだであることも分かりました。現地で出会った他大学の日本人学生の行動力に刺激されることもありました。これから英語力を伸ばしてもう一度訪れたいと思いました。また、興味があったので大学の授業とは別にリーズで裁判傍聴に行きました。イギリスの裁判官はかつらをかぶるのが正装なので、普段見られないものを見ることができて良かったです。私がこの留学で一番身につけたのは、自分のやりたいことを積極的に実行する行動力だと思います。

熊本大学海外派遣留学生 報告書
(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	工 学部・大学院 土木建築 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名：イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 2 月 13 日－2023 年 3 月 24 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受 給した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	大学の期末試験と時期がかぶっていたので勉強はほとんどしていませんでした。しかし大学の英語の授業での課題を真剣に取り組んで単語力などは上げておきました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよそ その費用)	☐ プログラム費用 円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (□片道 ☒ 往復) 30 万 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 9 万 円 ☐ その他 (交通費、お土産代、その他もろもろ) 20 万 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エディハド航空	手配	大学側の手配に任せました ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→福岡→羽田→成田→ アブダビ→マンチェスター →リーズ	到着 時刻	5:40 【※移動時間 (約 30 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☒ タクシー ☐ 公共交通機関 (□バス □電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	マンチェスター空港からリーズまではコーチを使うと楽かと思います。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	Wi-Fi レンタルをするよりも、SIM カードをネットで買って利用 する方が安く済むのいいと思います。また、ネットで買わなく ても現地のスーパーで買った方が安いので海外生活が初めてでな い人は現地で買っていいと思います。 また、除菌シートはあったらめっちゃくちゃ便利うえ、イギリス は除菌シートを売っていないため日本から持ってきたら便利で す。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	一、二週目はドキュメンタリープロジェクトで班員とドキュメンタリーを作り、三、四週目は持続可能な社会について話し合い、プレゼンを行い、五、六週目はフードブログの書き方について学び、実際に自分でもフードブログを書いてみるということをしました。月火木は午後の授業もあり、そこではちょっとしたトピックについて話すということをしました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	特にサポートはありませんでした。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	学生証の登録をするので留学前に予めオンライン上で登録を行っておくと楽かと思います。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	放課後はクラスメートとシティセンターに行くことが多かったです。シティセンターにはたくさんのお店があるので飽きません。休日は毎週のようにどこかに旅行へ行く計画を立てていました。ダラムやロンドン、ヨークに行きました。ロンドンには二回行きました。また、LUU のウォーキングツアーにも参加をし、クラス内だけではなく知り合いができました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み akf 方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学を通してリスニング・スピーキング能力が向上したと思います。

リスニングに関してはホストファミリーや先生はゆっくり話してくれますが、街のお店の人は全くゆっくり話してくれないので最初は全く聞き取れませんでした。留学最後らへんには聞き取れる部分が多くなり、最終的にはお店の人とコミュニケーションができるようになりました。最初は聞き取れない部分が多いとは思いますが、“sorry?” と聞き返し、曖昧な返事をしないようにしましょう。

スピーキングはクラスで他国のお友達がたくさんできるのでそこで英語を話すことで言葉を出すための瞬発力や相槌の打ち方が上達したと思います。しかし、今まで自分が培ってきた中の言葉を繋ぎながら会話をするので語彙は別で勉強しないと増えないと思っていた方がいいと思います。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

同じクラスには韓国人やタイ人、アラブ人が多くいました。なので東南アジア系の他の国の文化を学ぶのにはいい機会となると思いますが、現地の人と交流する機会を大学側から供給されるということはないので正直現地の人と交流できることは期待しない方がいいです。しかし、LUU の活動に参加すると交流することは可能なのでそういったものに積極的に参加すると良いかと思います。また、私は短期のプログラムでしたが長期留学で来ている人と仲良くなると長期の人は現地の人や色々なところにコネクションを持っているため自分のコネクションが広がると思います。

また、リーズはとても良い街で人がいいなと思います。しかし、友達の話の聞くと現地の学生に差別をされたり、薬をしている現地学生がいたりなど中には良くない人もいるのでそこは心の準備をしておきましょう。

また、リーズにはたくさんクラブがあるのでそこに友達と一緒に試してみるのもいいかと思います。私は留学最終日の前日に初めてクラブに行きましたがとてもいい経験になりました。クラブに誘ってくれた友達がとても人脈が広い人だったのでクラブに行ったときに現地の友達や他国の友達がたくさんできました。もっと早くから行っとけばよかったと思いました。

ホームステイに関しては私はかなり当たりの場所だったのではないかと思います。夕食は毎日違った食事でもとても美味しく、夕食後にデザートをだして頂けていました。また、部屋もとても広くシャワールームも綺麗でもとても快適でした。お手伝いを何かしないといけないと思っていましたが洗濯も掃除も食器洗いもすべてホストマザーがしてくれたので少し申し訳なかった記憶があります。ホストファミリーとの関わりに関して悩んだまま終わってしまったので、たくさんの人のお話を聞けば良かったと思います。

留学を通しての感想

留学をするうえで、たくさんの挑戦ができて良かったと思います。友達と一緒に行動するのもいいとは思いますが、自分がやりたいことで他にやりたい人がいなかったら 1 人でも挑戦することが大事だと思います。私は LUU のウォーキングツアーに 1 人で参加したり、ロンドンに 1 人で二泊三日を過ごしたりなどしました。自分一人は心細くはありますが、自分がしたいことをすべてやり切れたので後悔なく終われました。また、他国の友達がたくさんでき、一緒に色々な場所に行けたのもとてもいい経験になったと思います。留学先で出会った他国の友達とまた会おうと約束しているおり、留学後も関われるのでうれしいです。留学を通して様々な文化と出会い、体験し、悩んだこともあり、それら全てはいい経験になりました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	C さん		
所属	____ 教育 ____ 学部・大学院 ____ 小学校教員養成課程 ____ 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名：イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 2 月 13 日－ 2023 年 3 月 24 日	留学開始 時学年	3__ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 ____ 期】 ☐ その他 (_____)		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他(語)		
勉強方法	中学校英語の教員採用試験を受けるつもりだったためその勉強から読解や文法、英単語を学習していた。また、TOEICの参考書でリスニングの勉強をしていた。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよその費用)	☐ プログラム費用 350,000 円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 200,000 円 ☐ ビザ申請 0 円 ☐ 渡航費(□片道 ☒ 往復) 300,000 円 ☐ 海外旅行保険料 10,000 円 ☐ 食費 60,000 円 ☐ その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エティハド空港	手配	ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→羽田空港→成田空港→アブダビ空港→マンチェスター空港	到着時刻	2月12日6時 【※移動時間(約21時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(□バス □電車) ☒ その他(ホストマザーの出迎え)		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	マンチェスター空港からリーズまでは長距離バスと電車の選択肢があったが、電車は乗り換えがあったため、事前に長距離バスを予約していた。個人的に、現地では電車のキャンセルも多くあったため長距離バスを選択していたほうが安心感があった。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☒ 他国からの学生 その他()

その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	事前にしていたほうが良かったと感じたことは、クレジットカードの不正利用のセキュリティロック解除である。イギリスでは、電車のチケットやその他ネット決済はすべてクレカで行っていたが、日本のカードには海外のネットでの決済だと不正利用のセキュリティロックがかかってしまうものが多く、私のクレカもその一つだったため、イギリスに着いてからその対応をしなければいけなかった。時差や国際電話代のことを考えると現地でするのは大変だった。そのため、カードがセキュリティロックをするのか確かめ（知人の話によるとそうしたロックがかからないものもあるらしい）ロックがかかるのであれば、事前に解除しておくことを勧める。
--	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	月曜日から金曜日まで授業があり、午前の授業3時間と午後に授業2時間で構成される。水曜日と金曜日は午前の授業のみであった。 午前の授業のタスクは2週間ごとに変わるのだが、私のいた6週間では、ドキュメンタリー動画作成、プレゼンテーション、ブログの作成だった。最終的に発表するものも多かったため、前日になると準備であまり睡眠時間が取れず、私にとってそれらタスクは少しきつく感じた。しかし、ブログ以外は個人作成ではなかったため、協力し合うことができ、楽しめた。午後の授業は1週間ごとに内容が変わり、木曜日に小プレゼンテーションや討論をすることもあったが、タスク自体はそこまで難しくなかった。 課題を出されることは週に2、3日程度で、内容も難しくなかった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	2週間に一度、チューターと面談があり、人によるが、私は個人で面談をしてもらった。面談内容は午前授業のタスクの進捗や現状の問題点についてである。 また、ホームステイについての面談もあり、ホームステイ担当の方と、ホームステイ先が良くしてくれているか、変える必要はあるかなど話すことができた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	リーズ大学では、留学前に学生証発行のための学生情報入力ができるのだが、私はそのことを知らず行っていなかったため、オリエンテーションでの注意喚起の後行った。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	短期留学だったため、週末は必ず観光に出かけていた。ホームステイ先が一緒だった子や同じクラスだった韓国人、タイ人の子とマンチェスターに行ったり、そのタイ人の子とエディンバラに行ったりした。 私が参加した語学セミナーは、クラス内に現地学生がいなかったため、彼らとの交流は自分からイベントに参加しなければいけなかった。しかしリーズ大学にはクラブ活動の体験や、グローバルカフェと呼ばれる交流会も盛んなため、それらイベントを見つけることは簡単である。クラブ活動はLUU Engage と呼ばれるリーズ大学のサイトから探し参加した。グローバルカフェは毎週月曜日にUNION という建物で行われており、参加も無料で、さらにクッキーや紅茶なども無料でもらえた。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
私がこの6週間で特に伸びた英語力はスピーキングである。この留学にあたり、現地の人との交流や日本人以外の学生との交流を心掛けていたため、積極的にグローバルカフェに行ったり、クラスの韓国人やサウジアラビア人、タイ人など日本人以外の留学生に休み時間に話したり一緒にご飯を食べたりした。それら経験から、スピーキング力は大幅に向上したと思う。 リーズ大学には留学生が多く在籍しており、様々な宗教、様々なバックグラウンドを持った人がある。あるイベントに参加した際に、キリスト教と無宗教どちらがいいのだろうか、キリスト教の考え方はどうなのかというトピックについて現地の人と話すことができたのだが、私はキリスト教徒でもなく、今まで身近な存在でもなかったため、話すことでより自分の視野が広まったと思う。この留学で、グローバル化とはいったい何なのか、それがもたらすものは何かについて自分なりの考えができたし、人とコミュニケーションを取ることの大切さも感じることもできた。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

私が参加したリーズ大学の語学プログラムは日本人が多くいたため、日本人で固まってしまう人もいた。しかし、授業以外を日本人と過ごしてはただ英語の授業を受けていることと何ら変わりはないため、現地の人との交流やほかの国の子との交流を積極的に行い、英語をしゃべる機会を多く設けたほうが良いと思う。また、授業内での発言も、私も当初はできずにいたが、徐々にでも努力していくべきである。先ほども述べたように現地の学生との交流は何かイベントに参加しなければいけないが、現地の人である先生と交流するのはクラスで発言するだけで機会を設けることがとても容易である。さらに、先生であるため、もしも文法や英単語を間違えたら正しいものを教えてくださり、英語学習としてもより効果的ではないかと思う。もちろん最初は緊張するし、ハードルが高いと感じることもあるだろうが、たった短い期間で、尚且つなかなかないこのような機会を無駄にしてもいいのかを考えると英語が拙くても自信がなくても挑戦してみるべきではないだろうか。

留学を通しての感想

私は最初の授業に参加した際に、ほかの学生の授業での発言や会話を聞いて、自分が一番英語を喋れていないと感じた。最初の1週間は特にそのことを感じており、ホームシックにもなりかけたが、一番英語ができなかったとしても、この機会を無駄にしてはいけないと思い、まずは人と会話することから意識してみた。私にとってこの一歩が一番の成長だと感じている。今までの自分であれば、諦めて日本人だけで固まっていたかもしれないが、6週間しかないということと、留学費用を出してくれている両親を思えば、この機会を無駄にはできないと思い行動することができた。また、様々な人と交流したことで、視野も広まった。イギリスやほかの文化の良さだけでなく、日本の良さや課題も知る良いきっかけになった。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	D さん		
所属	教育 学部・大学院 小学校/社会 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名： イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 2 月 11 日－ 2023 年 3 月 13 日	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	単語帳で単語を覚えたり、英会話を学んだりしました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 224,400 円 ☒ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 142,290 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 300,000 円 ☒ 海外旅行保険料 11,000 円 ☒ 食費 45,000 円 ☒ その他(通学の際のバス代) 9,000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エミレーツ航空	手配	旅行会社ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→(車)福岡→(飛行機) 成田→(飛行機)ドバイ→(飛 行機)マンチェスター→(電 車)リーズ	到着 時刻	15時 【※移動時間(約 35時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関(☒ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港からリーズまでは電車です。でも直接はいけないので、途中バスや路面電車で行くなどするので荷物が多いと少し大変かもしれません。電車を初めから予約すると飛行機の遅れなどその時間通りに行けないことが多いのでその時買う方がいいかもです。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☒ 他国からの学生 その他()

その他生活に必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	絶対にSIMカードが必要です。特にThreeのSIMが良いです。あとは日本と違いカード社会なので絶対にクレジットカードを作っておくべきです。(JCBは使えないのでVISAがおすすめ) 私はキャリアバック2個だったのですが、とても大変だったのでキャリア2個はおすすめしません。
---	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について(授業・フィールドワーク内容、スケジュール等)	授業時間は9:00~12:00、13:00~15:00で、水・金は午前だけです。 午前は2週間ずつで内容が変わるのですが、Documentary 動画を作成したりプレゼンテーションをしたりしました。どちらもグループ活動でした。 午後は、最初2週間はバレンタインをテーマにした授業や Speed Dating など楽しい授業ばかりでした。後半2週間は旅行や商品のプレゼンだったので少し大変でしたが楽しく授業を受けることができました。
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	先生が2週目の初めにイギリスでの生活はどうかと聞いてくれる tutorial がありました。 ホームステイ先では初日に駅まで迎えに来てくれたり、何かあった時に相談にのってくれ対処してくれたりしていただきました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)	Registration を行い、学生証をいただきました。(registration をせずに除名処分になりかけた人もいたので気を付けてください。)

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	日本人学生が沢山いたので、同じクラスの子たちと一緒にロンドンなど色々な場所に行き、毎日とても楽しかったです。 私が行ったときは韓国人の子も沢山いたので、隣の席や同じ授業のグループになった子とも仲良くなり、その子たちのサッカーの試合を見に行くこともありました。 学校外でも日本語を話していると、「もしかして日本人？」と話しかけられることもあり、そういった外国人の方と話して仲良くなることもありました。 また、私は行けなかったけれど Language Zone で色々な国籍の学生と交流できるプログラムもあっていました。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）	
1 カ月だと格段に英語力が伸びることはあまり期待できないかもしれませんが。しかし私は英語が上手くなく周りの学生の中で英語力が一番低かったので、リスニングカスピーキング力が上がりました。最初の週はホームステイ先の会話が上手く聞き取れず、会話についていけませんでした。しかし最後の週は会話の内容が分かり、スムーズに受け答えもできるようになってホストファミリーとの会話がすごく楽しくなりました。 ホストファミリーと交流する機会を少しでも作ることで仲良くなるうえ英語力も向上すると思います。 また、1 カ月いたらお店の人との会話や初対面の人との会話もスムーズになりますし、イギリスの人はフレンドリーなので気軽に話せるようになりコミュニケーション能力が上がると思います。	
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）	
授業は、英語を勉強するというよりは英語で授業をするという形です。私はイギリスの大学で授業を受けてる感がでてより楽しかったですが、英語だけを勉強したい人にとっては楽しいとは言えないかもです。 休みの日や午後休の日は出かける方が楽しいですし、色々な経験ができます。私は知らない外国人に急に話しかけられたり、お財布を無くしたり面白い経験をたくさんしました。 リーズは治安が良いし、人は基本的に優しいです。道に迷ってる感を出したらよく「大丈夫？」と話しかけてくれます。何かあったら遠慮なく話しかけてみてください。でも夜は飲み歩いている人が多いので変に絡んでくる人もいますし、何よりホームレスが結構いるので気を付けてください。 あと電車・バスは基本的に時間通り来ませんし、しょっちゅう Cancelled になります。	

留学を通しての感想

この 1 カ月間ずっと楽しかったです。お財布を無くしたときも駅の方は親切でしたし、結局何も取られずそのまま返ってきたのでイギリスはとても良い場所だなと実感しました。

ホームステイ先はご飯もおいしく、夕食の時の会話が楽しかったです。マザーからは裁縫を習い、ファザーとはFootballの試合を一緒に観ました。お財布を無くした際もホストファミリーは鉄道会社に連絡を取ってくださり本当に感謝しきれないです。ホームステイ先が良い家族で本当に良かったと思っています。

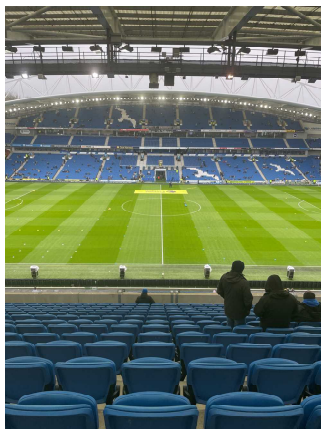
大学も韓国人やサウジアラビア人など普段だと話すことのできない方たちと話すことができてとても良い経験になりました。グループワークは日本の大学ではあまりないので、どんな人とも話す力、プレゼン力なども上がった気がします。

短期だったけれどイギリスに留学をすることができて本当に良かったです。この 1 カ月での経験を活かせるように英語の勉強に精進していきたいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	E さん		
所属	工 学部・大学院 機械数理工 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名：イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 2 月 11 日－ 2023 年 3 月 12 日	留学開始 時学年	3 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



ブライトン戦



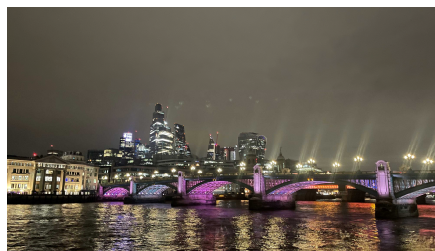
リーズ大学の教室



ビッグベン



タワーブリッジ



ロンドンの夜景



イングリッシュブレイクファスト

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	普段から用いている単語帳や英語教材 イギリス英語の教材		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 約 21 万 円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) ホームステイ 約 13 万 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 約 28 万 円 ☐ 海外旅行保険料 約 1 万 2 千 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 個人差はあるが現地での食費、娯楽費は 15～30 万円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エミレーツ航空	手配	旅行会社ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→成田→ドバイ→マン チェスター	到着 時刻	マンチェスター 午前 11 時 【※移動時間(約 22 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関(☒ バス ☒ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	電車を乗り継ぐかバスと電車での移動だが、土地勘が無いため、現 地の係員に詳しく聞いた方がいい。料金は 3500 円くらい。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☒ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	海外旅行保険は、大学側が提示してくれる保険に加入した。値段 もそれほど高くなく、良かったと思う。携帯電話は事前にアマゾ ンで SIM カードを購入して現地で付け替えた。ちょうど 1 ヶ月の ため、1 ヶ月用のものを購入した。荷物は行きは大きめのキャリ ーバッグ 1 つとリュックで済むが、帰りは荷物が増えボストンバ ッグを使用した。支払いはカード払いが多いため、クレジットカード を用意した(VISA か MASTER が必須)。現金もあってよい。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	2週間を1コマとした授業で、どちらもグループワークだった。1週目はドキュメンタリーを作る授業で、ドキュメンタリーとは何か、どのような構成で作られているかを学び、グループに分かれて、各自でトピックを考えてドキュメンタリーを作った。メンバーも国籍の違う人とペアになるため、英語で活動ができ、良い経験になった。2週目は Sustainable solutions で持続可能な社会に向けて取り組みを発表したり、何か記事を見つけて紹介したりするというものだった。これもグループでパワーポイントを用いてスライドと原稿を考えて発表するものだった。2週目からは留学生が減り、日本人が多い印象だった。1週目の途中にトリップがあり、近くの自然公園で散歩するということがあった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	担当の先生も2週間ごとで交代していくが名前を覚えてくれたり、課題のアドバイスをしてくれたり、優しく接してくれた。途中で学内で財布を忘れてしまうことがあったがその際も丁寧に指示がもらえ安心できた。ただ構内が広く、教室を探すのが大変なので積極的に係の人に聞くと良いと感じた。ホームステイもとても良い環境で過ごせたが、ビーガンの家庭だったため食事が口に合わないこともあった。非常食で日本食を多く持っていくのが良いと感じた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	基本的にリーズ大学側からメールが届くので、それに従う感じだった。ID設定は留学前のメールからでき、履修登録も自動的に大学側がしてくれていた。到着後に在学証明のプロフィールを完成させ、事務室に取りに行くことにより学生証が発行できた。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	ルームメイトが同じ日本人で気も合ったため、休日はほぼその子と一緒に過ごした。他の人も授業で仲良くなった人、もしくは一人で過ごす人もいて人それぞれな印象だった。ブライトンにサッカーを見に行ったり、ロンドンやリバプール、ヨークに観光に行ったりした。近くの都市は行きやすいので、事前に気になる場所を調べた。あらかじめ何か1冊本屋で旅行本を買っておくと役に立った。ハリーポッターのツアーやサッカー観戦は予約がいるため、到着してすぐ決めるのがベストだった。また、イギリスは電車の運賃が混雑率や日付、時間帯で変化するため早めに予約するのがおすすめ（バスはFustbus 電車はTrain line というアプリがあると便利）放課後などには学内のバーや留学生が集まって話をするイベントに参加して、多国籍の人との関りも増やせた。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学を通して、英語の勉強に対するモチベーションがとても上がった。高校までの留学と違い、現地の人も自分自身のことを子供ではなく大人として接するので、英語も容赦なく早く話すし感情的に言われることもあり、もっと英語力を身に付けて聞けたり話したりできるようになりたいと強く思うきっかけになった。また、授業中に自分から発言したり、積極的に英語で話しかけたりするようになった。海外の人はフレンドリーなので、一つ一つの会話が楽しかった。自分で英語で意思疎通をはかろうとするメンタルができ、自信が身に付いた。個人差はあるが、スピーキング能力は恥ずかしがらず、自分から話しかければ上達すると思えた。しかし、リスニング能力は耳も英語に慣れるので、出発前と比べて、英語がより聞こえるようになり、上達したと素直に感じた。また、リーズ大学はレベルの日本だけではなく各国から高い生徒が集まるので、どのように英語を勉強しているのか知ることができ、自分の未熟さを知る良いきっかけになった。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

まず留学を迷っているのであれば、ぜひ行ってみることをおすすめします。大学生の春休みは期間も長く、バイトや友達と遊ぶだけの生活になりがちだが、留学は本当に充実するし、良い勉強にもなり有意義な時間だった。リーズ大学は位置的にもイギリスの中心にあり、ロンドンまでも3時間程度なので、勉強だけでなく気軽に観光もできる充実した生活を送れる大学だと思う。また、日本と違う環境に身を置くことで、違う文化を学べたり、日本の良さに気が付けたりすると思う。交換留学と違い同じ熊大内からも何人か行き旅行会社を通すので、何かあれば連絡できる人がいるという面で初心者にはぴったりのプログラムだと思う。イギリスはどうしても対応が遅いほうの国なので、請求書やメールが送られてくるタイミングが遅いときがあった。同様なことがあっても心配しないでほしい。ホームステイは、正直運に左右されることもあるが、自分の周りの人は優しい方の方家庭にステイしていたので心配はいらないと思う。また、物価は高いので留学中も優先順位を付けて、どこかで節約することをおすすめします。

留学を通しての感想

とにかくあっという間、勉強しながらも楽しかった、というのが率直な感想です。周りの学生も短期留学の人も多く、英語に興味のある人が多く、過ごしやすい環境で英語を学べてよかったと思います。ホームステイでは他国の人もいたので、異文化交流できたことは楽しかったです。自分自身、コロナの影響で1、2年の間は留学に行けなかったのも、少し英語力も伸び悩んでいました。今回の留学を通して、リスニング力が向上したとともに、英語を話す楽しさや、うまく意思疎通できた時の喜びなど改めて感じる事ができ、英語学習に対してのモチベーションも上がりました。ホームステイではビーガンの方で、食生活の違いやイギリスの文化の違いも学べることができ、視野も広がったと思います。ロンドンは街並みが日本と全然違って、世界にはこんな素敵な街があり世界は広いなと感じました。また、観光をすると様々な人に話しかけられます。英語を通していろんな人とコミュニケーションが取れ、一つ一つが思い出です。現地の方や海外の人と話すことができ、普段日本にいとできない経験がたくさんできました。